
しあわせのオレンジ

藤本金巳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しあわせのオレンジ

【Nコード】

N6323Y

【作者名】

藤本金巳

【あらすじ】

猪瀬ハナ。35歳、独身。半年前に亡くなった祖母の形見のオレンジが、地味なハナを変えていく。

1話

おばあちゃんは、その朝、静かに眠っていた。

夕べはいつもと変わりなく、一緒にご飯を食べた。

私は会社のできごとを取り留めなく話し、

おばあちゃんはご近所さんの日常を取り留めなく話した。お互い、いつもの時間にはそれぞれの部屋に引き上げた。

最後に交わした言葉は、「おやすみ」。

そして、いつもの時間に起きてこないおばあちゃんの様子を見に行き、

おばあちゃんは天国へと旅立っていることを知った。

私と、この家と、【オレンジ】を残して。

おばあちゃんが亡くなってから、半年が過ぎた。

両親は不仲で、私が言葉を覚えはじめた頃には離婚したらしい。

とりあえず母が私を引き取ったけど、まもなく男と共に行方をくりました。

私は乳児院行きが決定していたけれど、救世主のごとくおばあちゃんが現れ、

以来、おばあちゃんが亡くなるまで二人暮らしを続けた。

おばあちゃんは、華奢で背が小さく、今にも折れそうな身体つきの割には、

ほとんど病気らしい病気をしたことがない。めったに風邪すら引かなかった。

おばあちゃんいわく、「全ての基本は食事から」らしい。

そんなわけで、私も風邪らしい風邪を引くことなく、只今元気に絶賛計算中だ。

「猪瀬さん、それ終わったらこっちの表も集計して。」

「猪瀬さん、さっきお願いした伝票だけど、15時までには仕上げてください?」

「い……………」

うるさい。

どいつもこいつも、そのくらい、じぶんでやれ!

……などは申せませんので、入行15年をかけて作り上げた胡散臭いスマイルを貼り付けて、殊勝に返事を返していく。

短大を卒業後、いまいちな出自の割りに地元の銀行に入行できたのは、

おばあちゃんの地元貢献度によるところが大きい。

住むところに困らないとはいえ、生活費は稼がねばならん。

あと20分で、お昼休みだ。お昼にはお弁当が待っている。

ちなみに今日のお昼は、おばあちゃんの残してくれたオレンジで作った、鶏肉のトマト煮込みだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6323y/>

しあわせのオレンジ

2011年11月21日18時55分発行